

## 忘れられない九日間

下吉田中学校 高山 孟

今回の姉妹都市派遣事業は、私にとって本当に貴重な、学びの多い、素晴らしいものになりました。

最初にいっしょにコロラドへ行くメンバーを見たときは、知らない人ばかりで、これから本当に大丈夫なのか、このメンバーに馴染むことができるのかと不安なこともあったけれど、数回の事前研修会での富士吉田市紹介の練習やソーラン節の練習などを通して、その不安もなくなり、他のメンバーと気軽に話せるようになりました。

出発の日、いよいよはじまるホームステイへの期待と初めての海外という不安を強く感じていました。日本を出国し、飛行機に十時間ほど揺られて、いざコロラドの地に立ち、広大な土地を見たら、今まであった不安も吹っ飛びました。

私がこの九日間で最も心に残っているのはホームステイです。ホストファミリー達との待ち合わせ場所への移動中ホストファミリーとうまく関わられるのか本当に不安でした。しかし、待ち合わせ場所へ着き、バスを降りると、私の名前が書いてあるボードを持っている優しそうなホストファミリーが一目散に目に入り、不安もなくなり安心できました。ホストファミリーの前で自己紹介をした時は、初対面にも関わらず、とてもフレンドリーに接してくれました。私も笑顔で自分から話しかけることができました。しかし、だんだんとホストファミリーの英語を話すはやさについていけなくなってしまい、何を言っているのか全く分からないことが多くあり、自分の英語力の不甲斐なさを改めて自覚しました。しかし諦めず、何とか聞き取ろうと頑張ってみたら、所々わかる単語などがあり、ちゃんと英語を理解してコミュニケーションをとることができました。初日は、夕食にピザを食べたのですが、その大きさが本当に大きくて、とても驚きました。アメリカのスケールの大きさを感じました。翌日の午前中はホストファミリーの子供達といっしょに「ガガボール」という遊びをしました。「ガガボール」というのは、ドッジボールに似ていてボールを床で転がして、そのボールが足にあたら負けというゲームです。とても楽しくて、子供達との仲を深めることができました。その翌日からは、映画館へ行きアメリカの映画を見たり、コロラドスプリングスのダウンタウンでショッピングをしたり、公園、動物園などたくさんの場所へ連れていってくださり、本当に貴重な体験をすることができました。中でも映画館へ行き、映画を見た後に、映画を見た人全員の前で自己紹介したことは、本当に忘れません。ホストファミリーと過ごす最終日には、ボルダリングへ行きました。私はボルダリングがはじめてだったのですが、二十メートル以上もある壁を登りました。達成感もすごくあり、良い経験をすることができました。

ホストファミリーとの最後の夜、感謝の気持ちを伝えました。そしたらホストファミリーがサプライズでたくさんのプレゼントをくれました。また、ホストファミリーの二歳の小さい子に「もうお別れだね。」と言うと、「嫌だ！」と泣いてしまいました。その時、私の中にも寂しい気持ちがこみ上げました。

十八人と過ごしたコロラドでの日々は、自分自身を成長させることのできるものでした。アメリカの文化の良さを知り、日本の文化の良さを改めて感じられるものになりました。

この派遣事業を通し、たくさんの発見と学びがありました。それができたのは、ホストファミリーはもちろん、市役所の方々、学校の先生、そして家族のおかげです。その感謝の気持ちを伝えるためにも、これからの日常生活や学校生活そして人生にもこの経験を活かしていきたいと思えます。

九日間、本当にありがとうございました。